

課題と今後の方向性（骨子案）

1．技術的な課題

(1)周波数帯等無線における課題

周波数帯域の適正
周波数帯域の競合
電波の出力

(2)システムの物理的な条件に関する課題

端末の大きさ
電源の持続

(3)システムの機能に関する課題

ZigBee アライアンス仕様
・ 伝送スピード（250kbps 以上へ）
・ 動態仕様の機能追加等
ノード数規模能力の拡大
親機、中継機的能力向上
位置把握の正確性
画面の見やすさ、わかりやすさ
通信の安定性

2．その他（実用化）の課題

(1)セキュリティ、プライバシー保護

試験機間の電波の暗号化
子供・保護者・地域住民の理解の促進

(2)システムコスト

初期費用、ランニングコスト、利用者負担、端末の価格

(3)運用

端末の大きさ、強度、携帯しやすさ、操作性
端末の省電力化（電池交換の長期化）
端末の耐久性（耐水性）

3．今後の方向性

- (1)効率的な電波活用と帯域
- (2)標準化、機能高度仕様化
- (3)信頼性向上
- (4)利用範囲の拡大
- (5)さらなる機能改善
- (6)コストの低減